

(2) スキルアップゲーム

練習にゲーム的要素を加え、楽しく取り組めるように工夫しました。

① 「ボール操作」を高めるスキルアップゲーム

○ ドリブル鬼ごっこ

ドリブルを行いながら、他の児童のボールにタッチしたり、それをかわしたりします。一定時間内に何回タッチしたか、また、何回タッチされたかを点数化しても面白いでしょう。他の児童を見ながらドリブルを行うので、ボールから視線をはずす必要があります、視野が広がります。

また、逃げたり追ったりする中で、素早くドリブルをしたり、相手にタッチされないようにボールを守ったりするドリブルの技能の向上も期待できます。



〈ボールから目を離し、攻める機会をうかがう様子〉

○ ドリブルトレイン

グループで列を作り、その先頭のドリブルをまねてついていくというものです。この運動でも視野の拡大がねらえます。

先頭になった児童は、自分なりにドリブルのリズムを変えたり、移動の速度や方向を工夫するようになります。ボールのつき方だけでなく、手を動かしたり、ピボットやジャンプを入れたりさせるのも効果的です。また、まねをする児童は、先頭と同じ動きという条件に合わせたプレーが必要とされます。



〈先頭に続いてドリブルを行う様子〉



〈先頭の手動きもまねている様子〉

② 「ボールを保持しない時の動き」を高めるスキルアップゲーム

○ 宝を増やせ

お手玉を宝に見立て、それを取ったり守ったりするゲームです。資料3（次ページ）のように、1チームの5人のうち、3人が宝を取りに行き、残りの2人が守ります。

攻める児童は、守る児童にタッチされないように宝を取らなければなりません。守る児童が動くことができるのは、宝の手前のラインまでです。

攻めが3人に対して守りは2人と、人数的に優勢と劣勢が生じます。そこで、攻める方は、人数的な優勢を利用し、ノーマークの味方を作り出して攻めようとします。また、守る方は、複数の宝と相手に対応するために、互いに声を掛け合ったり、左右に動きやすい姿勢を取ったりする